

初夏の箱根の風物詩“箱根あじさい電車”

「夜間ライトアップ」の実施について

【座席指定「夜のあじさい号」は運転中止】

箱根登山鉄道株式会社（本社：神奈川県小田原市、社長：抱山洋之）では、沿線のあじさいを車窓から楽しんでいただく夜間ライトアップを2年ぶりに実施いたします。昨年は、台風19号の被災により運休しておりましたが、今年は日中の色鮮やかなあじさいと合わせて夜の幻想的な雰囲気をお楽しみいただけます。

なお、座席指定制の臨時電車からお楽しみいただく、初夏の箱根の風物詩「夜のあじさい号」につきましては、新型コロナウイルスの状況を考慮し、2021年度の運転を休止いたします。

沿線のあじさいの見ごろ情報については、箱根ナビ（公式 web ページ）で6月中旬頃よりご案内予定です。（<https://www.hakonenavi.jp/>）

夜間ライトアップ実施期間

2021年6月19日（土）～7月4日（日） 16日間

箱根登山線は箱根湯本駅から強羅駅までの標高差が400メートル以上もあり、あじさいの見頃もこの標高差とともに移っていくため、鑑賞期間が長いのが特徴です。あじさいといえば梅雨時期の6月が有名ですが、箱根は標高が高いため7月も見頃となります。

この時期の登山電車は車窓に触れるほどに咲き誇るあじさいの中を進むため、多くのお客さまより「箱根あじさい電車」の愛称で親しまれており、沿線6箇所においてあじさいのライトアップを実施しております。

また、グリーン株式会社「グリーン電力」の導入により、ライトアップ照明に使用する電力をグリーン電力で賄ったとみなされ、地域の環境保全対策に役立てられています。

以上

<参考>



箱根あじさい電車風景（昼間と夜間）

「箱根あじさい電車の歴史」

昭和48年（1973年）頃	鉄道職員が自発的にあじさいの植栽を開始
昭和51年（1976年）	鉄道職員によるボランティア組織「沿線美化委員会」発足
昭和60年（1985年）頃	沿線に多くの植栽が整備され、この頃より「あじさい電車」という呼称が一般に定着
平成 6年（1994年）	ライトアップおよび座席指定特別列車「夜のあじさい号」運転開始
平成22年（2010年）	神奈川県より「第1回かながわ観光大賞（観光プロモーション部門）」受賞
平成23年（2011年）	東日本大震災による電力需給関係により夜間ライトアップおよび「夜のあじさい号」の運転を休止 座席定員制特別列車「チャリティーあじさい号」を運転し、座席料金の全額を東日本大震災の義援金として「あしなが育英会」に寄付
令和 2年（2020年）	2019年10月の台風19号の影響で甚大な災害を被り、箱根湯本～強羅間が長期間運休となったため夜間ライトアップおよび「夜のあじさい号」の運転を休止
令和 3年（2021年）	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から混雑を避けるため座席指定臨時列車「夜のあじさい号」の運転を休止